



画像から読み解く 重症度と離床可否の判断 ～疾患別にみた臨床評価の極意～

肺水腫・間質性肺炎編

カテゴリーII*

講座コード
R-264

難易度 ★★★★☆

日 時：2025年2月15日(土) 10:30～12:30

会 場：インターネット生中継セミナー 2週間見逃し視聴期間あり

講 師：松田 直之 先生(名古屋大学 医師)

対 象：看護師・PT・OT・ST(左記以外でも受講可)

受講料：会員 5,400円(税込) 一般 6,400円(税込)

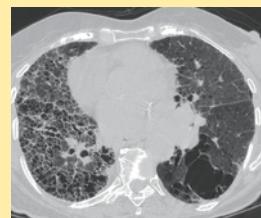
※永久保存版
PDFスライド付今、会員になると
年会費 4,900円が無料
実質 5,900円割引

画像から起こすリスクを読めたら最高だと思いませんか？

昨年、好評だった画像から読み解く重症度判別シリーズの肺水腫・間質性肺炎編が遂に登場！とりあえず離床前に画像は見ているけれど、読んだ画像を離床の可否の判断やリスク管理につなげられていない…と悩んでいませんか？画像所見を離床に活かす秘訣は、ズバリ！「重症度」を見極めること。肺水腫・間質性肺炎編では、胸部画像の所見から症状や呼吸状態の把握、急性増悪のリスクを読み解く読影法を学び、離床可否の判断法を徹底的に身につけます。読影の基礎はもちろん、一步・二歩踏み込んだ画像判読を身につける絶好のチャンス！この機会をお見逃しなく。

プログラム

- 間質性肺炎・肺水腫の病態とフィジカル所見・検査データ
- 間質性肺炎の画像読影ポイント
～網状影・すりガラス影・コンソリデーション～
- 画像からみた心原性肺水腫とARDSの読影ポイント
～butterfly shadow・peribronchial cuffing・vanishing tumor～
- CTによる間質性肺炎・肺水腫の読影法
- 炎症後の線維化が離床にどう影響するのか?
知っておくべきInterstitial lung disease(ILD)の危険なサイン
- 間質性肺疾患の治療戦略～重症化を防ぐ炎症コントロールのキモ～
- こんな場合はダメ！医師が考える重症な間質性肺炎患者の離床不可の条件
- 画像による肺の線維化/炎症の重症度の判断と離床の進め方



全10講座シリーズで開催！

*「カテゴリーII」は昨年開催された「カテゴリーI」とテーマが異なる新講座であり、前回受講していなくても十分理解が可能ですので、奮ってご参加ください。

1月11日(土) 脳出血 編	1月11日(土) くも膜下出血 編	2月15日(土) 気胸 編	3月15日(土) DVT・動脈硬化 編	3月15日(土) 心不全 編
4月20日(日) 発声・構音障害 編	4月20日(日) 嚥下造影 編	5月18日(日) 膝・股関節 OA 編	5月18日(日) 靭帯・腱板損傷 編	10回まとめて申し込むと クーポン 5,000円分 プレゼント！ 会員のみ 30名 限定

※これらの講座は離床アドバイザー習得コースの理論0.5単位と更新ポイント5 ptを取得できます。

申込方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F

